

平成22年度当初予算の概要



特産のゆずをPRする
キャラクター「滝ノ道ゆずる」

平成22年4月
箕面市

当初予算の全体像

< >内は、前年度との比較

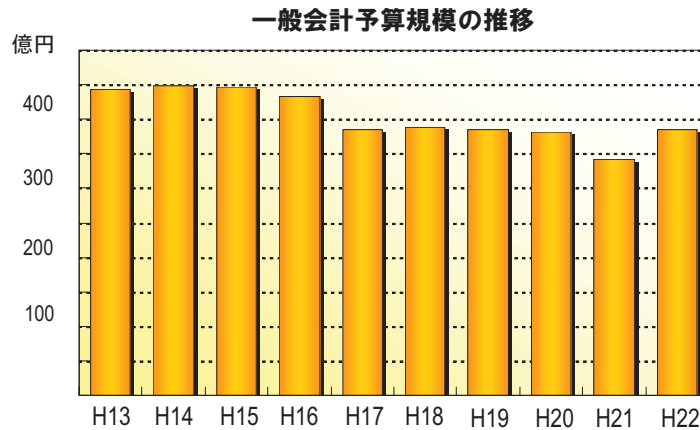
◆ **一般会計の予算額** 384億80百万円 <+43億50百万円、+12.7%>

子ども手当への給付(26億円)や彩都地区小中一貫校の整備(約21億円)などにより予算規模が拡大

◆ **全事業会計の予算額** 1,364億87百万円 <▲530億34百万円、▲28.0%>

(特別会計・企業会計を含む)

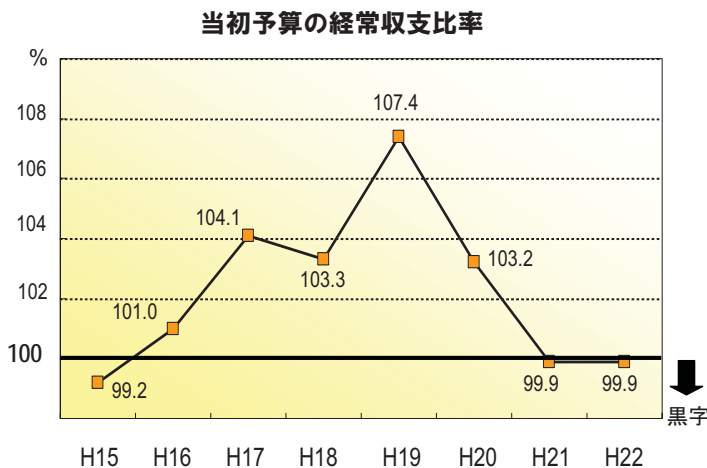
特別会計競艇事業費において、ポートピア梅田の管理施行者が大阪府都市競艇組合に交代(3年ごと)し関連予算が大幅に減少



収支バランスの状況

◆ **経常収支比率** 99.9% <±0.0%>

市税など経常一般財源が減少(▲8億65百万円)したものの、人件費をはじめ、指定管理施設の拡大や各種事業の見直しなどにより経常経費を削減し、昨年度に引き続き経常黒字を達成した。



経常収支比率とは

経常的な支出(人件費、施設の維持管理、福祉・教育サービスなどの経費)を経常的な収入(市税等)で、どの程度賄えているのかを示しています。

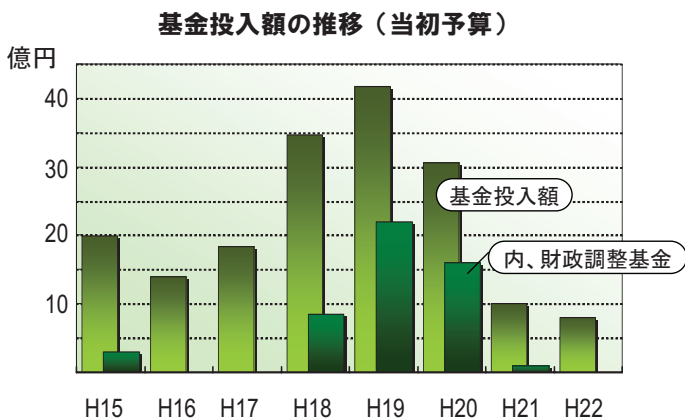
100%を超過することは赤字であることを示しており、家計に置き換えれば給料で生活費が賄えない状態のことです。

◆ 基金投入額（取崩額－積立額）

8億10百万円 <▲2億5百万円、▲20.2%>

※定額運用基金（自然緑地等保全基金）から積み替え分を除く

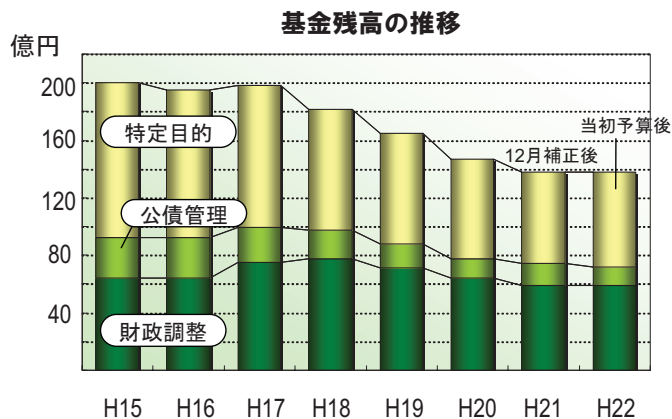
取り崩しを、必要最小限の9億62百万円とし、一方で『未来子ども基金』、『交通設備整備基金』などに1億52百万円積立て、財政調整基金の取り崩しはしない。



◆ 基金残高

137億75百万円 <▲13百万円、▲0.1%>

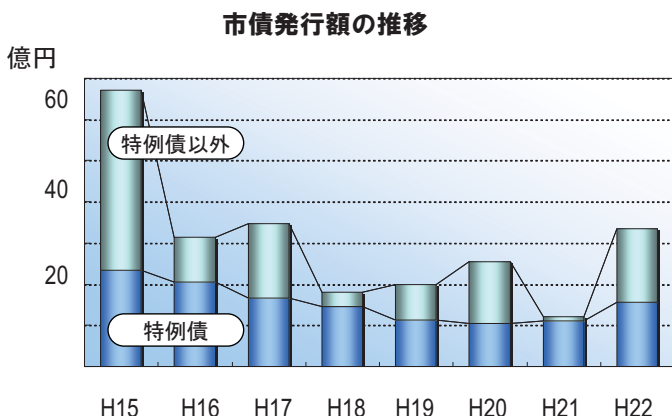
平成21年度に国の経済対策を活用し、将来予定していた事業を前倒しで実施したことにより、平成22年度は投資的事業を最小限にとどめ、基金残高の減少をくい止めた。



◆ 市債発行額

33億37百万円 <+ 21億29百万円、+ 176.3%>

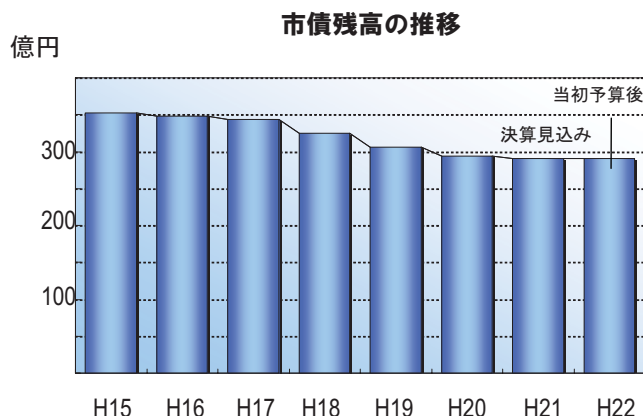
彩都地区小中一貫校整備などのため施設整備事業債を約17億87百万円発行した。なお、臨時財政対策債は、15億50百万円の発行としている。



◆ 市債残高（普通会計ベース）

291億円 <+ 71百万円、+ 0.2%>

平成15年度をピークに減少傾向にある。平成22年度についても、ほぼ前年度並みの残高となった。



平成22年度重点施策の概要



箕面市公式ブログキャラクター
「モミジュー」

I 安心・支え合い最優先

市民の安全・安心の確保と、地域での支え合いを醸成していく取り組みを進める。

(重点施策)

- ①市立病院における医療の充実 【予算額391,908千円】

- ②(仮称)箕面シニア大学の創設と
 (仮称)シニア・ナビの開設 【予算額2,389千円】

- ③元自衛官の採用による危機管理体制の強化

- ④昨年度に続く消防車両の大幅な更新 【予算額106,782千円】

I ー① 市立病院における医療の充実

【予算額391,908千円】

・患者の体の痛みや負担の少ない治療を推進するための内視鏡検査装置等、医療機器の整備充実を図る。



箕面市立病院



市立病院医療スタッフ

・また、昨年6月から地方公営企業法を完全に適用し、自らの権限と弾力的な運営により効率的に経営が行える組織体制へ移行したことにより、新年度予算では前年度比約1億2千万円の赤字を削減する予算とする。

I ー② (仮称)箕面シニア大学の創設と(仮称)シニア・ナビの開設

【予算額2,389千円】

・自主的活動の中核と成り得るパワーや知識を持つ高齢者の、仲間づくりや地域活動へのデビューを支援するため、シニア・高齢者に特化した「(仮称)箕面シニア大学」を創設する。

・団塊世代が地域に戻られることを念頭に、これまでの経験を活かした多様なボランティア活動への紹介や、仲間作りを支援する窓口「(仮称)シニア・ナビ」を新たに開設する。



箕面シニア大学のイメージ



地域でのボランティア活動のイメージ

I - ③ 元自衛官の採用による危機管理体制の強化

・災害に対する自治体の危機管理能力が強く求められている時勢に対応するため、豊富な経験を持つ元自衛官を採用し、危機管理監に充て、緊急時の対応力を再構築する。



災害対策本部



防災訓練

I - ④ 昨年度に続く消防車両の大幅な更新

【予算額106,782千円】

・昨年度の5台に引き続き、消防車両5台（常備消防車両1台、非常備消防車両4台）を更新し、消防力の充実強化を図る。



常備消防車両



非常備消防車両

Ⅱ 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

(重点施策)

①急増する保育所待機児童への積極的対応

- ・2011年4月、保育所と認定こども園を新たにオープン【予算額346,425千円】
- ・これまでの簡易保育に加え、公立幼稚園の余裕教室を
活用した簡易保育の実施【予算額103,120千円】

②大阪府内全33市で初めて、幼・小・中の耐震化率100%を達成

【前年度からの繰越額5,219,226千円】
【予算額8,425千円】

③2011年4月、彩都に小中一貫校を開校

【予算額2,097,504千円】

④「(仮称)箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設

【予算額64千円】

Ⅱ-① 急増する保育所待機児童への積極的対応

・2011年4月、保育所と認定こども園を新たにオープン

【予算額346,425千円】

- ・第二総合運動場の50メートルプール用地を転用し、認可保育所を新設する。
- ・小中一貫校とどろみの森学園敷地内に、保育所・幼稚園の一体型施設「認定こども園」を新設し、0歳から15歳までの一体的な保育・教育体制を整える。



イメージ



とどろみの森学園

Ⅱ－① 急増する保育所待機児童への積極的対応

- ・これまでの簡易保育に加え、公立幼稚園の余裕教室を活用した簡易保育の実施

【予算額103,120千円】

- ・市立とよかわみなみ幼稚園において、民間主体に場所を提供し、3歳児を対象とした簡易保育を実施する。
- ・3歳未満児については、市内6カ所、市外1カ所の簡易保育所へ委託する。



とよかわみなみ幼稚園



イメージ

Ⅱ－② 大阪府内全33市で初めて、幼・小・中の耐震化率100%を達成

【前年度からの繰越額5,219,226千円】 【予算額8,425千円】

- ・昨年の秋に着手した幼稚園3園、小・中学校9校の耐震化工事等を平成22年度末に完成し、大阪府内全33市で初めてとなる幼稚園及び小・中学校の耐震化率100%を達成する。
- ・新年度はさらに、保育所1所の耐震化工事及び保育所1所の耐震診断調査を実施する。



耐震補強実施状況



太陽光パネル設置状況

Ⅱ－③ 2011年4月、彩都に小中一貫校を開校

【予算額2,097,504千円】

・とどろみの森学園に続き本市で2校目、大阪府内の公立学校でも2校目となる施設一体型の「小中一貫校」を、2011年4月に彩都で開校する。これにより、9年間の子どもたちの一貫した学びと育ちを支える特色ある教育活動を展開する。



彩都小中一貫校イメージ図



小中一貫校の風景(とどろみの森学園)

Ⅱ－④ 「(仮称)箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設

【予算額64千円】

・子どもの活字離れを防ぎ、読書意欲を高めるため、子どもたち自身が選んだ本や主人公を表彰する「(仮称)箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設し、箕面から全国に発信する催しへと展開する。



図書館アカデミー賞の授賞式



子ども達による手作りのトロフィー

Ⅲ 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

(重点施策)

- ①山なみ景観保全策の強化 【予算額1,985千円】

- ②「まちなかのみどり」を支援する制度と、
その財源となる基金を創設 【予算額797,957千円】

- ③遊休農地の解消を図る「農空間保全事業」の創設 【予算額1,500千円】

- ④全市域を対象とした「まちの美化」の推進 【予算額616千円】

- ⑤箕面駅前、桜井駅前、北部地域の活性化促進 【予算額301,260千円】

- ⑥北大阪急行線延伸構想の推進 【予算額106,117千円】

- ⑦秋に市内バス路線網を再編 【予算額54,890千円】

- ⑧箕面の「魅力」の営業活動を加速 【予算額3,010千円】

Ⅲ－① 山なみ景観保全の強化

【予算額1,985千円】

・箕面のシンボルである山なみ景観を守るため、東西7キロメートルにわたる山すそ部を新たに「山すそ景観保全地区」に指定し、更なる山なみ景観の保全策を進める。



箕面市の市街地と山なみ



市街地から見た山なみ景観

Ⅲ－② 「まちなかのみどり」を支援する制度と、その財源となる基金を創設

【予算額797,957千円】

・住宅地の保護樹木や生け垣緑化など、市民が身近な緑を守り、育て、活かすための「まちなかのみどり支援制度」を創設する。
・「まちなかのみどり支援制度」の財源とするため、昨年度の施政方針で示した「(仮称)みどりファンド」を具現化する「みどり支援基金」(約7.9億円)を創設する。



保護樹木



生け垣

Ⅲ－③ 遊休農地の解消を図る「農空間保全事業」の創設

【予算額1,500千円】

・遊休農地解消に実績をあげている「営農指導チーム(農業委員会)」、就農意欲のある市民と農業者をつなぐ「農業サポーター制度」に加え、農業基盤(農道等)の整備に補助する「農空間保全事業」を創設し、遊休農地の解消を促進する。



農業サポーターによる作業状況



農業に必要な農道や水路

Ⅲ－④ 全市域を対象とした「まちの美化」の推進

【予算額616千円】

・箕面のまちを美しく維持するため、罰則規定も含んだ「箕面市まちの美化を推進する条例」を制定し、全市域において空き缶のポイ捨て、犬のふんの放置等を禁止する。

・市民団体等が申請した地域を重点的に美化する地区(美化推進地区)に指定できる仕組みを構築し、「まちの美化」の推進を図る。



飼い主のマナーが大切



市民による美化活動

Ⅲ－⑤ 箕面駅前、桜井駅前、北部地域の活性化促進

【予算額301,260千円】

- ・多くの観光客が訪れる玄関口「箕面駅前～箕面大瀧へ続く滝道」の再整備に着手する。また、滝道における川床(かわゆか)の社会実験を行う。
- ・桜井スーパーマーケット旧館部分を用地買収し、駅前広場的な送迎や駐車スペースとして暫定的に整備する。
- ・旧止々呂美小中学校跡地に「(仮称)止々呂美ふるさと自然館」を新設し、朝市など地元農業者の活発な動きと連動して、豊かな自然を活かすアウトドア・レジャーなど集客力のある地域振興策を展開する。



箕面駅前の整備イメージ



桜井駅前の現況



(仮称)とどろみふるさと自然館のイメージパース

Ⅲ－⑥ 北大阪急行線延伸の推進

【予算額106,117千円】

- ・大阪府や鉄道事業者とのトップクラスによる会議を設置し、事業実現に向けた合意形成を加速させる。
- ・早期着工に向けた準備として、昨年度の当初予算で14年ぶりに基金積立を再開した「交通施設整備基金」に、昨年度の倍額となる1億円を積み立て、事業実施時期における財政負担を平準化させる。



(仮称)新箕面駅のイメージパース



(仮称)箕面船場駅のイメージパース

Ⅲ－⑦ 秋に市内バス路線網を再編

【予算額54,890千円】

・秋から新たなバス交通の実証運行を開始し、採算性と利便性を検証し、バス路線網の再編を図る。

路線バス



Mバス



新たなバス路線網の再編



導入予定の新型車両



Ⅲ－⑧ 箕面の「魅力」の営業活動を加速

【予算額3,010千円】

・箕面の特長でもある「観光の魅力」と「住宅都市としての魅力」を民間企業とのタイアップにより市内外に広くPRし、箕面のブランド力をさらにアップさせる。



イベントで箕面市をPRする様子



箕面市をPRする様子